各位

会 社 名 ア ス ク ル 株 式 会 社 代表者名 代表取締役社長 C E O 吉岡 晃 (コード番号:2678 東証プライム) 問合せ先 役職・氏名 取 締 役 C F O 玉 井 継 尋 TEL 03-4330-5130

#### その他の関係会社の決算に関するお知らせ

本日、当社のその他の関係会社である LINE ヤフー株式会社(本店所在地:東京都千代田区紀尾井町 1-3、代表者:代表取締役社長 CEO 出澤 剛)より、2024年度通期及び第 4 四半期 決算説明会 プレゼンテーション資料が発表されましたが、その資料に当社に関する記載がありましたので、該当ページに関し別添のとおりお知らせいたします。

添付資料中、当社の業績に関する記載がございますが、以下のとおりLINEヤフー株式会社と当社の各連結会計期間は異なり、また、両社の会計基準等の違い※により当社が公表する決算数値とは合致いたしません。

※当社は日本基準、LINE ヤフー株式会社は IFRS を会計基準に適用

連結会計期間	LINE ヤフー株式会社	当社
通期	2024年4月1日~2025年3月31日	
	・添付資料中 1 ページ目および 3 ページ目に記載の調整後 EBITDA 増減額 ・添付資料中 2 ページ目に記載のアスクル BtoB 事業(イン ターネット経由)の売上高	2024年5月21日~2025年5月20日
第 4 四半期	2025年1月1日~2025年3月31日	2025年2月21日
	・添付資料中 4 ページ目に記載のアスクル連結四半期売上高	~2025年5月20日

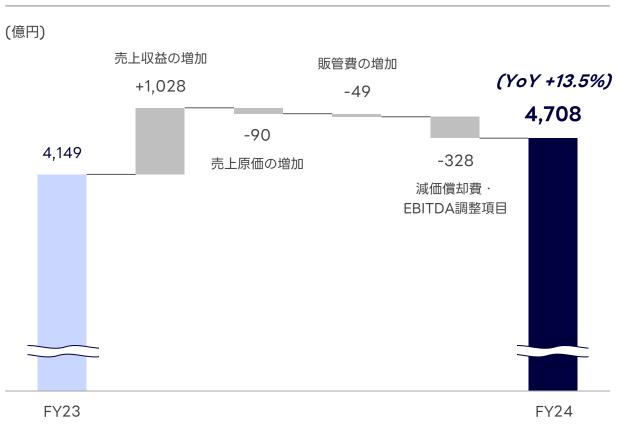
別添 LINE ヤフー株式会社 2024 年度通期及び第 4 四半期 決算説明会プレゼンテーション資料(抜粋)

(注)2024年11月20日時点でLINEヤフー株式会社は当社発行済株式総数の45.79%を所有しております。

## 全社 業績分析

# コスト最適化は落ち着いたが、各プロダクトの売上成長が牽引

## 調整後EBITDA<sup>1</sup>増減分析



### 売上収益: +1,028億円

- ・メディア (+294億円): アカウント広告が成長
- コマース (+212億円): ZOZO、アスクル、Yahoo!ショッピング、トラベル、 リユースが成長
- ・戦略 (+512億円): PayPay連結<sup>2</sup>、LINE Pay台湾、PayPay銀行が成長

### 売上原価: +90億円

- ・メディア (+56億円): dely、LINEスタンプ、ebookjapanが増加
- コマース (-0億円): アスクルが増加したものの、バリューコマース、IPXの 非連結化により減少
- ・戦略 (+34億円): PayPay銀行が増加

#### 販管費: +49億円

- 販売促進・広告宣伝費 (+171億円): 主にYahoo!ショッピング、PayPay連結2の販促費が増加
- その他販管費 (-121億円): 支払手数料、ライセンス料が増加したものの、 減損損失、減価償却費、業務委託費が減少

#### 減価償却費及びEBITDA調整項目: +328億円

• 主に減損損失、減価償却費及び償却費が減少

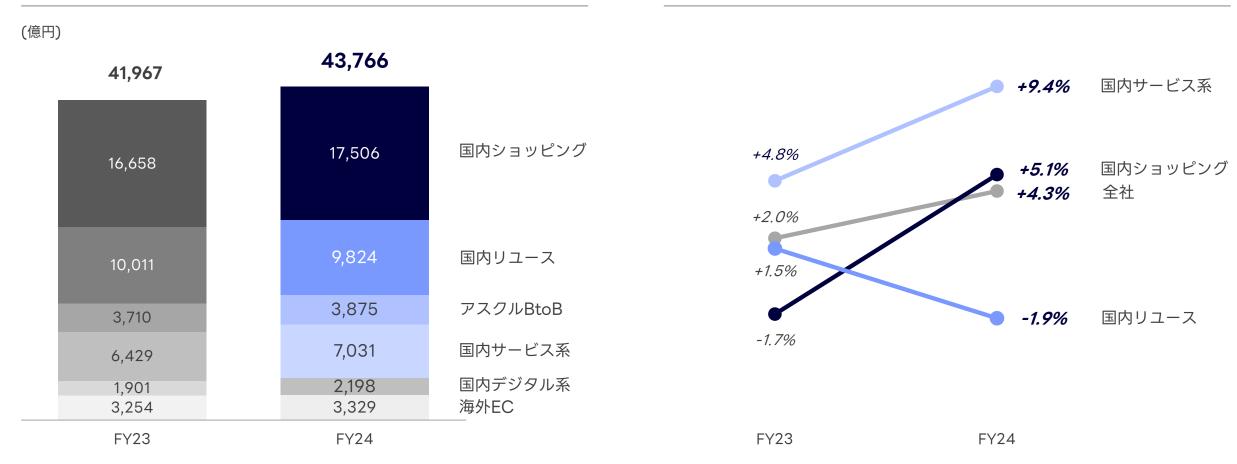
- 1. 調整後EBITDA: 営業利益+減価償却費及び償却費±EBITDA調整項目。減価償却費及び償却費: 減価償却費、使用権資産減価償却費、一部の賃借料。EBITDA調整項目: 営業収益・費用の内、非経常かつ非現金の取引損益 (固定資産除却損、減損損失、 株式報酬費用、企業結合に伴う再測定益、その他現金の流出が未確定な取引 (一時的な引当金等) 等) 。また、一部ファンドの保有株式の売却損益
- 2. PayPay (株)、PayPayカード (株)、クレジットエンジン (株) の連結数値

## 全社 eコマース 取扱高

# Yahoo!ショッピングとトラベルが成長をけん引



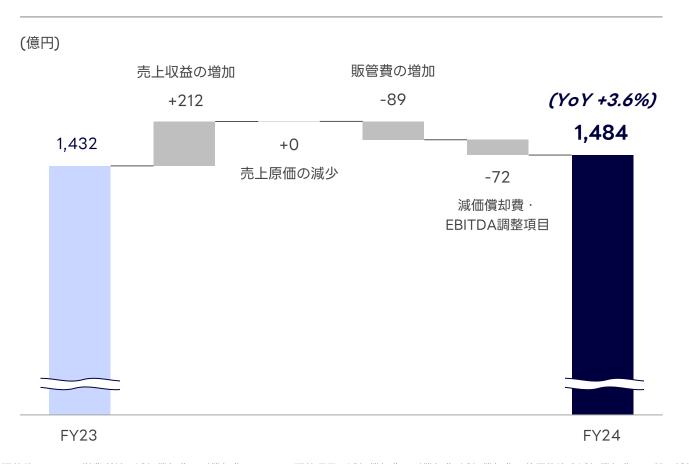
## 全社 eコマース取扱高 成長率 (YoY)1



## コマース事業 業績分析

# 前年度の一時益(94億円)の反動があるものの、各プロダクトの成長により増益

## 調整後EBITDA<sup>1</sup>増減分析



### 売上収益: +212億円

ZOZO、アスクル、Yahoo!ショッピング、トラベル、 リユースが増加

### 売上原価: -0億円

• 為替影響によりアスクルが増加したものの、 バリューコマース、IPXの非連結化により減少

### 販管費: +89億円

- 販売促進・広告宣伝費 (+120億円): 主に Yahoo!ショッピングやLINEギフト、トラベルの 販促費が増加
- その他販管費 (-31億円): 主にバリューコマースやIPX の非連結化による改善

減価償却費及びEBITDA調整項目: +72億円

<sup>1.</sup> 調整後EBITDA: 営業利益+減価償却費及び償却費±EBITDA調整項目。減価償却費及び償却費: 減価償却費、使用権資産減価償却費、一部の賃借料。EBITDA調整項目: 営業収益・費用の内、非経常かつ非現金の取引損益 (固定資産除却損、減損損失、株式報酬費用、企業結合に伴う再測定益、その他現金の流出が未確定な取引 (一時的な引当金等)等)。また、一部ファンドの保有株式の売却損益

## 業績概況(P/L)

(百万円)	FY2023 Q4 <sup>1</sup>	FY2024 Q4 <sup>1</sup>	YoY
売上収益	211,276	212,061	+0.4%
LINEヤフー	38,595	40,893	+6.0%
ショッピング事業	20,424	19,880	-2.7%
リユース事業	9,995	10,747	+7.5%
サービスEC事業	7,910	9,888	+25.0%
その他	265	378	+42.7%
$ZOZO$ 、 $\mathcal{P}\mathcal{A}\mathcal{D}\mathcal{V}^2$	172,680	171,168	-0.9%
売上原価	98,557	95,321	-3.3%
販管費	99,003	103,940	+5.0%
販売促進費・広告宣伝費	19,814	23,735	+19.8%
その他販管費	79,188	80,204	+1.3%
その他収益及び費用	9,426	-	N/A
調整後EBITDA/マージン	40,836 (19.3%)	30,355 (14.3%)	-25.7%

<sup>1.</sup> FY24Q3に、メディア事業に区分されていた一休.comレストラン、およびPayPayグルメのサービスをコマース事業に移管。これに伴いFY23、FY24Q1、Q2の業績を遡及修正

<sup>2.</sup> 当社子会社であるZホールディングス中間 (株) は、バリューコマース (株) が2024年3月12日~4月9日まで実施した自己株式の公開買付けに応募し、当該公開買付けが成立。バリューコマース (株) は2024年5月2日に当社の持分法適用関連会社 へ移行したことから、以降、バリューコマース (株) のサービスを含まない

## 主なサービス・商品

項目	内訳
LINEヤフー	
ショッピング事業	「Yahoo!ショッピング」、「LINEブランドカタログ <sup>1</sup> 」、「LINE FRIENDS」、「LINEギフト」、 「Yahoo!クイックマート <sup>2</sup> 」、海外EC(「LINE SHOPPING (台湾・タイ)」、「GIFTSHOP」、「MyShop」、その他)
リユース事業	「Yahoo!オークション」、「Yahoo!フリマ」
サービスEC事業	「Yahoo!トラベル」、「一休.com」、「LINEトラベル (台湾)」、その他
その他	その他
ZOZO、アスクル	_
ZOZO	「ZOZOTOWN」、「ZOZOUSED」、その他
アスクル	アスクルBtoB事業 (「ASKUL」、「SOLOEL ARENA」、「APMRO」、「FEEDデンタル」、その他) 、「LOHACO」、 「チャーム」、その他
その他	その他

<sup>1. 「</sup>LINEショッピング」は2024年8月20日から「LINEブランドカタログ」にサービス名称を変更

<sup>2. 2024</sup>年8月13日から「Yahoo!クイックマート」のサービスを開始

## 開示KPI: eコマース取扱高の定義

項目	主なサービス・商品
eコマース取扱高	
国内物販系取扱高	_
ショッピング事業	「Yahoo!ショッピング」、「ZOZOTOWN」、「LOHACO」、「チャーム」、「LINEブランドカタログ <sup>1</sup> 」、「LINEギフト」、 「LINE FRIENDS」、「Yahoo!クイックマート <sup>2</sup> 」
リユース事業	「Yahoo!オークション」、「Yahoo!フリマ」、「ZOZOUSED」
アスクルBtoB事業 (インターネット経由)	「ASKUL」、「SOLOEL ARENA」、「APMRO」、「FEEDデンタル」等
国内サービス系取扱高	「Yahoo!トラベル」、「一休.com」、「出前館」
国内デジタル系取扱高3	「ebookjapan」、「LINEマンガ」、「LINE MUSIC」、「LINEスタンプ」、「LINE GAME」、「LINE占い」、 その他有料デジタルコンテンツ
海外EC取扱高	「LINE SHOPPING (台湾・タイ) 」、「GIFTSHOP」、「MyShop」、「ZOZOFIT」、「LINE FRIENDS」、 「LINEトラベル」、「LINE MAN」、「LINEスタンプ³」、「LINE GAME³」、「DOSI⁴」

- 1. 「LINEショッピング」は2024年8月20日から「LINEブランドカタログ」にサービス名称を変更
- 2. 2024年8月13日から「Yahoo!クイックマート」のサービスを開始
- 3. 当該サービスの収益は、メディア事業セグメントに計上
- 4. グローバルNFTプラットフォーム。当該サービスの収益は、戦略事業セグメントに計上